



国立健康危機管理研究機構

国立国際医療センター 看護部

National Center for
Global Health and Medicine

総合病院として 高度で幅広い医療を実践

病院理念

国立国際医療センターは、最善の総合医療を提供し、疾病の克服と健康の増進を通じて社会に貢献します。

看護部理念

かけがえのない生命と人間性を尊重し、あたたかい看護をめざします。

変わらぬ使命と進化する対応力 — 感染症・災害医療の最前線へ

2025年4月、国立国際医療研究センターと国立感染症研究所が統合され「国立健康危機管理研究機構（JIHS）」が誕生しました。当院はその一員として、全国に88施設しかない特定機能病院として、高度な総合診療を提供し、疾病の克服と健康の増進を通じて社会に貢献します。また、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療にも力をいれております。

さらに、平時からパンデミックなどの有事に備え、感染症対応、救急・集中・災害医療に加え、DMAT（災害派遣医療チーム）として迅速な医療支援にも取り組んでいます。

看護部長挨拶

Message from the Chief Nursing Officer

安全で質の高い、そして患者さんに寄り添う看護を提供することを目標にしています。

看護部では、安全で質の高い、そして患者さんに寄り添う看護を提供することを目標にしています。この目標は、一人ひとりの看護職員が、あらゆる場面で患者さんにとって「良い看護とは」「あたたかい看護とは」を考え看護を実践することだと考えています。

急性期医療の場面では、限られた時間の中での判断、判断に基づく看護実践の提供が必要です。難しさもありますが、様々な経験は自身の成長を感じ、看護の喜びにつながります。看護職として互いに認め・学び・支え合い、ひとりの人として一緒に成長しましょう。



看護部長



高度急性期医療

初期救急から三次救急まで幅広い救急患者を受け入れ、高度・急性期医療を提供する特定機能病院です。限られた時間の中で迅速かつ的確な判断と対応が求められる現場では、看護師としての知識・技術・判断力が自然と磨かれます。患者さんやご家族の不安に寄り添い、チーム医療の一員としてのやりがいや成長を実感できます。

外国人患者対応

日本に滞在中の外国人や海外からの受診希望者が、安心して医療を受けられるよう支援体制を整えています。医療コーディネーターや医療通訳者と連携し、看護師は多職種チームの一員として、言語や文化の違いに配慮した看護を提供しています。また、外国人診療に関する研修や多文化理解を深める教育を通じて、より質の高い医療サービスの提供を目指しています。



危機管理（感染・DMAT）

高度な総合診療を提供するだけでなく、感染症対応、救急医療、災害医療など、あらゆる健康危機に対して柔軟かつ強力に対応できる体制を構築しています。

また、DMAT（災害派遣医療チーム）としての活動を通じて、災害時には現地に迅速に医療支援を届けるなど、地域・社会の安全と健康を守るための取り組みを行っています。

病院の特徴

Characteristics of the hospital



なりたい看護を実現できる

Nurse Interview

院内教育プログラム「Career Bloom」について

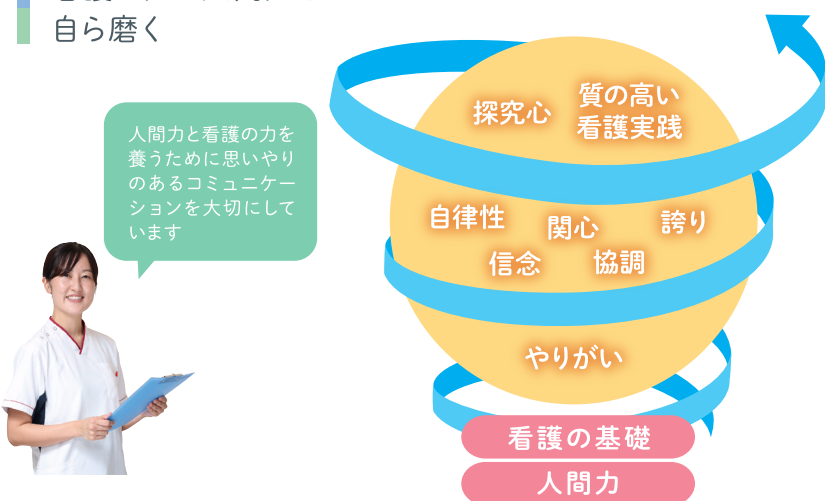
当院は、幅広い医療を担う組織です。看護師は、組織の一員として、また看護専門職として、日々能力が発揮できるよう、学習を重ねながらキャリア開発をしています。

Bloomとは「花」「開花」の意があります。「Career Bloom」には、看護師1人ひとりのキャリアが、それぞれに開花してほしいという願いを込めています。また、国花である「さくら」を用いて、1枚1枚の花びらをラダーレベルに例えています。1人の看護職として、美しく咲き誇り、5枚の花びらとなった「さくら」を、成長したジェネラリストやスペシャリストとして活躍す

る当院の看護師としてイメージしています。そして、各自が「こんな看護師になりたい」と、思い描く姿や成長は様々であり、多様性のある看護職への成長を期待し、さくらの模様の違いで多様性を示しています。それぞれが個性あるさくらを咲かせ、看護部全体で美しくきれいな花を咲かせていきましょう。

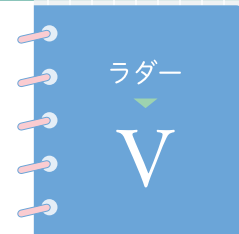
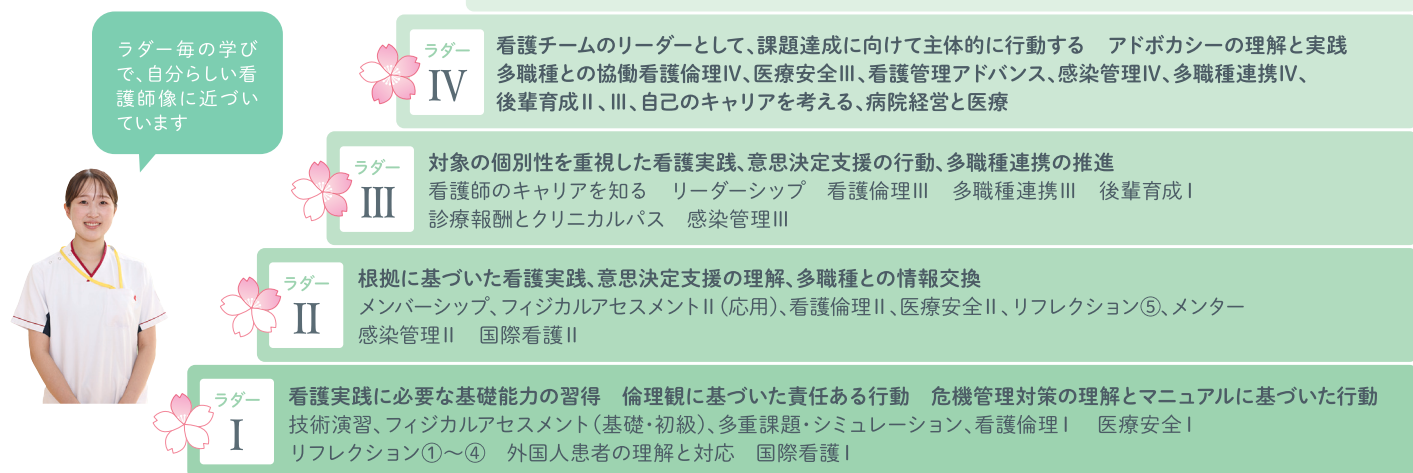


看護の力と人間力を自ら磨く



看護専門職として成長する過程は、技術を磨くだけではありません。患者さんに寄り添い、仲間と支え合いながら働く中で、自立心や思いやり、忍耐力、リーダーシップといった“人間力”が育まれていきます。当センターでは、日々の実践と経験を通して、看護の力と人としての深みをともに培い、信頼される看護師へと成長していきます。

キャリアラダー別学習・実践内容



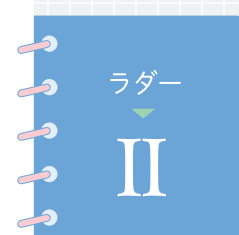
キャリアラダーVの研修では看護管理の基礎や管理を実践するためのスキルについて、座学やグループワークで学びを深め、感染管理研修では当機構における管理者の役割について理解することが出来ました。現在は副看護部長として実際に病棟運営に携わっており、日々悩むこともありますが、その際は研修で学んだ事や感じた事を思い出しながら働いています。



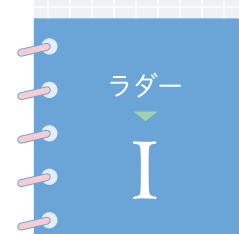
キャリアラダーIVの取得で、マネジメントの視点が養われ、後輩育成や自部署での課題解決を主体的かつ組織横断的に多職種と協働していくことにやりがいを感じています。また、自身のキャリア形成にも目を向け、研修参加や後輩のロールモデルとなるように意識をしています。今後は、高度な専門知識や技術の習得、病院経営へ参画し看護マネジメントが実践できるようになることが目標です。



キャリアラダーI・IIを通して、基礎看護技術や患者との関わり方を積み重ねたことで、現在はラダーIIIとして、より高度な看護実践に取り組んでいると感じます。研修では、個別性を重視した看護、意思決定支援、多職種連携推進について学び、実際に患者・家族のニーズに寄り添えたときには、大きなやりがいを感じます。今後は、より包括的な支援ができるよう、学びを深めていきたいです。



キャリアラダーIで習得した基礎的な知識、技術がラダーIIの目標である根拠に基づいた看護実践の基盤となっていることを日々感じています。院内研修では多職種連携について学び、様々な職種とのコミュニケーションが患者さんへの安全な医療の提供に繋がることが学びました。今後はさらに根拠を深め、状況に応じた行動ができるよう成長していきたいです。



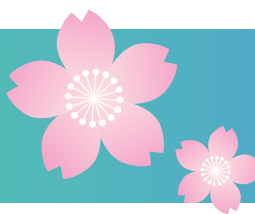
大学で学んだ知識を実践に結び付けることができるように、キャリアラダーIの研修に取り組んでいます。安全で基準に沿ったケアが患者さんの安心や笑顔に繋がることが学び、そこにやりがいを感じています。「人に優しく」をモットーに患者さんに寄り添う看護を大切に、どの世代の方からも信頼される看護師を目標に、実践力を磨いていきたいです。

多様な
キャリア
プラン

- ジェネラリスト
- スペシャリスト・エキスパート
- 専門看護師 認定看護師
- 診療看護師 特定認定看護師
- 特定行為研修修了者

- 看護管理者
- 国際協力局員
- 臨床教員
- DMAT隊員

- 活躍の分野
- 看護管理
- 国際協力
- 災害支援
- 教育



看護師としての基盤を作る、病院全体での新人教育・支援体制

新人看護師

毎日の振り返りで看護の目的を意識し、月ごとの面談では先輩と課題や目標を共有しています。相談しやすい環境で、同期とも助け合いながら日々成長を目指しています。

病棟看護師長

新人看護師が安心して成長できるよう、病棟全体で育てる雰囲気づくりに取り組んでいます。実地指導者や教育担当者と連携し、日々の看護実践を通して新人看護師の学びを支え、チームで成長を見守っています。



実地指導者

新人看護師と共に育つことができるように意識して指導を実施しています。新人看護師が安心して看護実践ができるように日々の振り返りを大切にしています。

教育担当副看護師長

後輩育成担当者と共に病棟全体で新人看護師への教育・指導を行っています。新人看護師や実地指導者が互いの考えや思いを共有し、成長を感じ合えるように支援しています。



研修では「ほめエール」を通じて、自分自身にエールを送り、社会人としての自覚や人間力についても考えを深めます



リフレクション研修

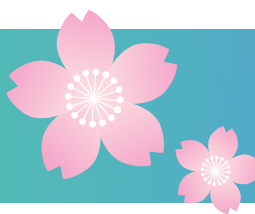
仲間とともに振り返る、成長の時間

新人看護師が3か月ごとにリエゾンナースとともに自身の成長を振り返る「リフレクション研修」を行っています。同期と励まし合い、高め合うこの時間は、技術だけでなく心を育てる大切な機会です。研修生からは「日々の看護を振り返ることで明日からもまた頑張ろうと思える」「同期と語り合えるこの時間が大切でした」といった声が寄せられています。悩みや喜びを共有しながら、看護師として、人として、一歩ずつ前に進んでいく姿がそこにあります。

年間教育 ラダーI (1年目研修)

4月	4月上旬 ■新採用オリエンテーション 4月 ■看護技術演習 ■医療安全 ■フィジカルアセスメント ■接遇 ■コミュニケーション ■臨床倫理 ■リフレクション①	
5月	5月 ■夜勤オリエンテーション	毎日の振り返りで看護の目的を意識し、月ごとの面談では先輩と課題や目標を共有しています。相談しやすい環境で、同期とも助け合いながら日々成長を目指しています。
6月	6月 ■看護倫理 I-1 ■外国人患者の理解と対応	
7月	7月 ■リフレクション② (3ヶ月の振り返り) ■フィジカルアセスメント (初級)	
8月	8月 ■国際看護 I	多様な文化や言語背景を持つ患者さんとの関わり方を、実践的に学べる研修です
9月		
10月	10月 ■多重課題・シミュレーション ■リフレクション③ (6ヶ月の振り返り)	
11月		
12月	12月 ■看護倫理 I-2 自分の看護を見つめ直し、価値観や葛藤を共有する、大切な学びの場です	夜勤の暗い病室で、点滴の確認や患者さんの観察をする場面を体験!
1月		
2月	2月 ■リフレクション④ (11か月の振り返り)	
3月		





多様な分野で活躍する看護のスペシャリスト・エキスパート

❖ スペシャリスト・エキスパートとは

それぞれの分野で高度な知識と技術を活かし、患者さん・ご家族・医療チームを支える重要な役割を担っています。
当院では、さまざまな分野のスペシャリスト・エキスパートが連携し、質の高い看護を提供しています。

専門・認定 看護師

専門看護師 資格取得領域

- ・感染症看護
- ・がん看護
- ・精神看護
- ・急性・重症患者看護
- ・小児看護

認定看護師 資格取得領域

- ・感染管理
- ・皮膚・排泄ケア
- ・認知症看護
- ・がん化学療法看護
- ・集中ケア
- ・手術看護
- ・緩和ケア
- ・呼吸器疾患看護
- ・救急看護
- ・慢性心不全看護
- ・訪問看護
- ・新生児集中ケア
- ・摂食・嚥下障害看護
- ・糖尿病看護

特定行為研修修了者 資格取得領域

- ・気管内チューブの位置調整
- ・輸液の調整
- ・動脈ラインの確保

診療看護師 活動している分野

- ・術中麻酔管理補助
- ・術後疼痛管理

感染管理認定看護師

職種を超えた連携による 感染対策の体制づくり

科学的根拠に基づいた最新の感染対策を全職員に周知徹底し、医師やメディカルスタッフなど多職種と密接に連携しながら、組織全体で感染管理を推進する体制を構築しています。感染症発生時には迅速な対応と正確な情報共有を図り、患者および職員の安全を最優先に確保するよう努めています。今後も医療現場に寄り添いながら、安心・安全で信頼される環境づくりに尽力し、医療の質のさらなる向上を目指していきます。



摂食・嚥下障害看護特定認定看護師

患者さんの「食りたい」を支える看護の力

私自身、食べることが大好きで、患者さんの「食いたい!」という思いを支えるべく、摂食嚥下障害看護特定認定看護師になりました。摂食嚥下障害を持つ患者さんが、安全に食事を楽しめるよう支援しています。また、看護師だけではなく、多職種とも連携し、嚥下評価・食事環境の調整・誤嚥予防などを行い、リハビリやケアの提案も実施しています。認定看護師としてやりがいを持ち、楽しく患者さんやスタッフと関わることを大切にしています。



急性・重症看護専門看護師

高度な判断力と技術で、患者の命を支える

予期せぬ事故や危篤な疾病によって生命の危機的状況にある患者さんご家族にとって、最善の看護を提供し、患者さんご家族が1日でも早く快方へ向かうよう支援しています。病棟外では呼吸ケアサポートチームのメンバーとして、人工呼吸器を装着している患者さんの呼吸ケアやスタッフからの相談に対応しています。また、フィジカルアセスメントや酸素療法などの院内研修に携わり院内全体の看護の質が向上することを目指して活動をしています。



特定行為研修修了者

臨床推論で築く、チームの信頼とケアの質

特定行為研修修了看護師は、急性期から集中治療領域において、臨床推論に基づいて医師や多職種と協働することで、専門性の高い看護を実践しています。人工呼吸器管理や動脈ライン確保などの特定行為を通じて重症患者の早期回復を支援することに加え、後進の育成にも力を注ぎ、臨床判断力の育成とチーム全体のスキル向上を図っています。急性期医療の最前線で、患者一人ひとりに寄り添う質の高いケアを実現し、安心して治療に専念できる環境づくりに努めています。



皮膚・排泄ケア特定認定看護師

「治療」と「生活」をつなぐ専門性

褥瘡などの創傷ケアやスキンケア、人工肛門などのストーマ造設患者へのケア、失禁ケアを中心に支援しています。退院までのケアだけでなく、患者さん一人ひとりの生活スタイルに合わせたケアの提案・指導を行い、退院後もその人らしい生活が送れるような看護を提供しています。また、「治療」と「生活」の両面から患者さんを支えるために、特定行為研修で学んだ知識と技術を活かし、より専門的な支援ができるよう、医師や多職種と連携を図るよう努めています。



診療看護師

看護の力で、治療と生活を支える存在に

看護師として、確かな知識と技術を基盤に医師や多職種と連携し、患者さんが安心して治療を受けられることを目指して診療看護師を志しました。周術期のあらゆる場面で的確な判断に基づいた看護を実践しています。慢性疾患を抱える患者さんにも継続的に関わり、治療だけでなく退院後の生活まで見据えた看護を心がけています。患者さんの価値観を尊重し、その人らしい選択や思いを大切にしています。





未来につながる働き方をサポート

職員キャリアアップ支援制度

- [1] 認定看護師教育課程・特定行為研修：出張扱いで修学することができます。
- [2] 海外研修制度や海外看護研修などがあり、出張扱いで受講することができます。

自己啓発等休業制度

- [1] 大学・大学院等における修学のための休業制度があります。
- [2] 国際貢献活動（（独）国際協力機構がおこなう派遣業務を目的とした開発途上地域における奉仕活動）のための休業制度があります。

育児支援

働きながら子育てができる育児支援体制が整っており、多くの先輩たちが仕事と育児を両立しています。

- 産前・産後休暇：就業規則により、産前・産後の休暇、および業務の軽減等が決められています。
- 育児休業：最長3年間まで育児休暇が取れます（要申請）。
- 短時間勤務：育児のための短時間勤務があります（男女共）。

研究支援

大学院修了者から、看護研究についてさまざまなアドバイス受けることができます。

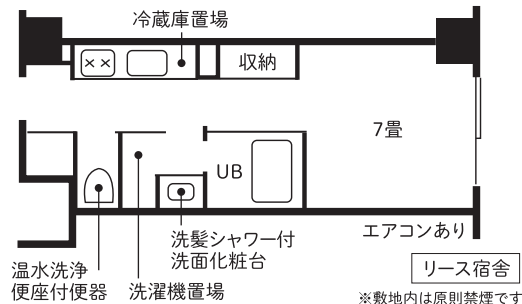
意向調査

配置換えやキャリアアップについての意向を、年に1回調査します。一人ひとりの状況と、それぞれの部門・病棟の状況で配置を考えます。



看護師宿舎

宿舎周辺には公園もあり、緑に囲まれた閑静な住宅街です。また、新宿や渋谷、池袋などに近く、羽田や成田にもアクセスが良い場所です。



※敷地内は原則禁煙です

設備

- 2013年建築、1K（7畳）148室 2021年建築、1K（7畳）163室、病院まで徒歩約5分
- エアコン、バストイレ別、温水洗浄便座、室内洗濯機置場、システムキッチンIH2口、BS/CS
- セコムホームセキュリティ、エレベーター、モニター付インターホン、オートロック、宅配ボックス

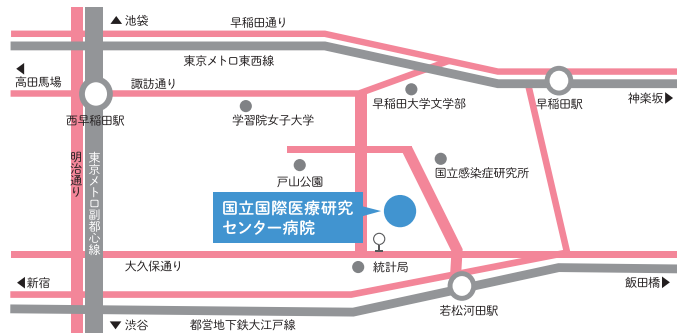
住み心地の良い寮で、安心して新生活をスタートできました

アクセス

新宿、渋谷、池袋すべて20分圏内！

生活・遊びに便利な抜群のアクセス環境です

都営地下鉄大江戸線『若松河田』駅から…徒歩約5分
東京メトロ東西線『早稲田』駅から…徒歩約15分
『新宿』駅西口から…バスで約12分



出身校一覧

北海道

北海道大学
札幌市立大学
札幌医科大学
北海道医療大学
札幌保健医療大学
日本医療大学

青森県

青森県立保健大学
青森中央学院大学

岩手県

岩手県立大学
岩手保健医療大学

宮城県

宮城大学
仙台青葉学院短期大学

福島県

福島県立医科大学
筑波大学

茨城県

茨城県立医療大学
常磐大学
茨城キリスト教大学
つくば国際大学

栃木県

自治医科大学
国際医療福祉大学
独協大学

群馬県

群馬大学
群馬県立県民健康科学大学
高崎健康福祉大学
群馬バース大学
上武大学

埼玉県

埼玉県立大学
目白大学
西武文理大学
日本赤十字看護大学
東京家政大学
大東文化大学

千葉県

千葉大学
東京情報大学
城西国際大学
聖徳大学
東京医療保健大学
国際医療福祉大学
和洋女子大学
東都大学

東京都

SBC東京医療大学
東京科学大学
東京都立大学
国立看護大学校
日本赤十字看護大学
聖路加国際大学
慶應義塾大学
東京医科大学
東京慈恵会医科大学
東京女子医科大学
上智大学
帝京大学
昭和大学
杏林大学
東邦大学
東京医療保健大学
帝京平成大学
東京有明医療大学
東京工科大学
創価大学

神奈川県

共立女子大学
武蔵野大学
東京医療学院大学
駒沢女子大学
文京学院大学
神奈川県立保健福祉大学

新潟県

北里大学
東海大学
湘南医療大学
湘南鎌倉医療大学
関東学院大学
国際医療福祉大学
神奈川工科大学
新潟大学
新潟県立看護大学
新潟青陵大学

富山県

富山大学
金沢大学

石川県

福井県立大学
敦賀市立看護大学

山梨県

山梨大学
山梨県立大学

長野県

信州大学
長野県看護大学
松本看護大学
長野保健医療大学
佐久大学

静岡県

清泉大学
静岡県立大学
順天堂大学

愛知県

愛知県立大学
名古屋市立大学
愛知医科大学
名古屋薬学大学
名古屋芸術大学
日本赤十字豊田看護大学
椋山女子学園大学
人間環境大学

三重県

三重大学
三重県立看護大学

滋賀県

滋賀医科大学
同志社女子大学

京都府

明治国際医療大学
関西医科大学

大阪府

大阪医科大学
森ノ宮医療大学

兵庫県

兵庫県立大学
甲南女子大学
兵庫医科大学

奈良県

畿央大学
島根大学

島根県

島根県立大学
岡山県立大学

岡山県

新見公立大学
広島大学

広島県

日本赤十字広島看護大学
広島都市学園大学

山口県

山口大学
山口県立大学

徳島県

四国大学

愛媛県

愛媛県立医療技術大学
高知大学

高知県

高知学園短期大学
福岡県立大学

福岡県

福岡看護大学
福岡女学院看護大学
福岡国際医療福祉大学
久留米大学
日本赤十字九州国際看護大学
第一薬科大学
西南女子学院大学

佐賀県

佐賀大学
長崎大学

長崎県

長崎県立大学
熊本大学

熊本県

大分大学
大分県立看護科学大学

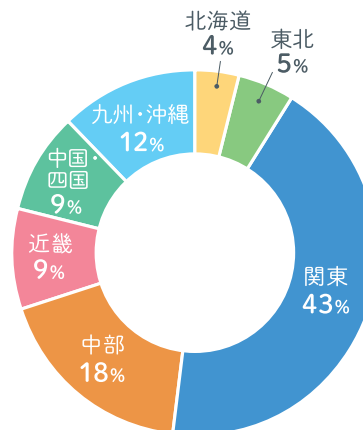
大分県

琉球大学
沖縄県立看護大学

沖縄県

名桜大学

過去5年間の採用校



全国からきています

専門学校等

八戸市立高等看護学院
国立病院機構 都城医療センター附属看護学校
国立病院機構 姫路医療センター附属看護学校
福山市医師会看護専門学校
埼玉県立高等専門学院
学法)原学園看護専門学校
本庄児玉看護専門学校

東京都立北多摩看護専門学校
東京都立府中看護専門学校
東京都立広尾看護専門学校
国立病院機構 大阪医療センター附属看護学校
大阪赤十字看護専門学校
東京山手メディカルセンター附属看護専門学校
首都医校
亀田医療技術専門学校

過去5年間の採用校

沿革

明治元年(1868年)	10月	山下門内に兵隊假病院を設置
明治14年(1881年)	6月	東京陸軍病院と改称
昭和4年(1929年)	3月	新宿区戸山町(現在地)に移転
昭和20年(1945年)	12月	厚生省に移管 国立東京第一病院と改称
昭和22年(1947年)	9月	附属看護学校開設
平成5年(1993年)	10月	国立国際医療センター発足 (国立病院医療センターと国立療養所中野病院を統合)
平成13年(2001年)	1月	国立国際医療センターの組織として国立看護大学校が設置
	4月	国立看護大学校開校
平成15年(2003年)	4月	特定感染症指定医療機関に指定
平成20年(2008年)	4月	国立精神・神経センター国府台病院と組織統合 国立国際医療センター戸山病院と改称
平成22年(2010年)	4月	独立行政法人 国立国際医療研究センターに組織改編 国立国際医療研究センター病院と改称
平成22年(2010年)	10月	3次救命救急センター開設
平成24年(2012年)	11月	特定機能病院承認
平成27年(2015年)	4月	国立研究開発法人に移行
	9月	JMIP認証を取得
令和7年(2025年)	4月	国立健康危機管理研究機構(JIHS)設立 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターと改称

